

1 本校の概要

昭和五十三年に開校し、平成三十年度に創立四十周年を迎えた本校は、釧路町唯一の普通科三間口の全日制高校です。これまで、約八千人の卒業生を輩出し、直木賞作家の桜木紫乃さんソチ、平昌オリンピック女子アイスホッケー代表の小西あかねさんの母校としても知られています。



2 学校の特徴

本校では、平成二十五年より開始された「ベースックスタディ」を基盤とした学び直しの充実を図る取り組みや、生徒会やボランティア局を中心に、学校全体でボランティア活動に積極的に取り組んでいます。

主なボランティア活動としては、有志による、社会を明るくする運動、湿原マラソン大会やクルーズ船のおもてなしボランティアなどがあります。

一の道立高校として地域と連携した花壇造成や地域清掃、地域イベントではボランティア局や吹奏楽部への出演依頼も多く、ボランティア局による近隣小学校の放課後学習のお手伝いなど地域の行事にはなくてはならない存在となっています。また、生徒会を中心に取組んでいる東日本大震災後の復興支援ボランティアは平成二十六年度から毎年数名の生徒を現地に派遣し復興現場の状況を釧路町内に報告する活動を続けています。この活動をきっかけに、現在も釧路町と連携してHUG（避難所運営ゲーム）などによる防災意識を高める活動に取り組んでおり、本校の特徴のひとつとなっています。



3 P T A 活動

本校のP T Aは「楽しいP T A活動」をモットーに、生徒と共に活動しながら学校生活を応援する取り組み

に力を入れてきました。生活委員会による生徒・保護者・教職員の代表が同時に交通安全宣言を行う交通安全集会をはじめ、進路委員会による親子で聴く進路講話やP T A・同窓会役員が面接官となる就職希望者模擬面接会、また、研修委員会が中心となった学校祭でのP T Aバザー「東豚亭」の実施など、生徒たちの学校生活が充実出来るよう応援し続けてきました。

また、「楽しいP T A活動」のメイン行事となっているP T Aバス研修旅行は毎年秋に行われており、名物先生の迷バスガイドによるご当地クイズで毎年大盛況。子どもの卒業後も欠かさず参加する保護者もいるほど楽しめる行事となっています。

生徒の成長のために保護者・地域の一員として力を尽くす。その思いは生徒たちにも伝わり、学校生活の充実や進路実現につながっています。

